



国際協力

2022.4
NO.71

JICA 駒ヶ根

～JICA海外協力隊派遣再開状況について～

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、2020年3月中旬以降、派遣中の全隊員が日本に退避一時帰国しましたが、帰国後は自分たちが「今出来ることを今いる場所で」貢献できる活動に挑戦しました。

こうした中、JICAは各国での隊員の任地の状況などを踏まえながら、2020年11月ベトナムへ隊員を再派遣したことを皮切りに、コロナ禍における渡航再開を進めてきました。2022年3月14日現在、渡航を再開している国は40カ国、派遣中人数は321名になります。

なお、渡航再開の決定にあたっては、派遣国・地域における感染状況が落ち着いていることや現地の受入態勢が整っていること等を前提として、国毎、案件(要請)毎に隊員活動が可能と確認されたところから派遣の再開をしています。

～2022年度 駒ヶ根訓練所 派遣前訓練について～

2021年度は従来の集合型訓練期間である70日間で45日間に短縮し、4回の訓練を実施しました。地域の皆さまに支えられ、134名が派遣前訓練を無事修了しました。2022年度も、入所前の健康観察やリモート型訓練、訓練生およびスタッフの定期的なPCR検査の実施など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、万全を期して訓練を行います。

派遣前訓練の予定日程

2022年度1次隊:4月12日～6月9日

2022年度2次隊:7月中旬～9月上旬

2022年度3次隊:10月中旬～12月上旬

2022年度4次隊:1月中旬～3月上旬



コロナ禍での語学訓練の様子

～2022年度 施設訪問受入れ可能期間について～

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、2022年度においても訓練期間中の施設訪問は休止とする予定です(変更になる場合には当訓練所のHPでお知らせします)。また、訓練期間外につきましても、感染状況次第では受け入れ時期や人数を制限させていただく場合がございます。皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。なお、オンラインを活用した施設訪問プログラムは引き続き行ってまいります。

訓練所スタッフは、ひとりでも多くの方の「協力隊事業に対する想い」に寄り添い、精一杯サポートしていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします!



オンラインを活用した施設訪問プログラム



施設訪問もコロナ対策を取りながら実施しています

～JICA四国センター×駒ヶ根訓練所コラボ企画～

【四国の中学・高校4校が オンラインで訓練所や協力隊を体験！】

2022年1月～2月末にかけてJICA四国センター×駒ヶ根訓練所コラボイベント「JICA海外協力隊オンライン体験入隊」を徳島県、香川県、愛媛県、高知県の中・高校生を対象に開催しました。

全日程で参加者は、約180名。訓練所バーチャルツアーや協力隊体験談、語学体験レッスンなどを行い、初めてJICAや協力隊のことを知った生徒さんたちも多く、国際協力に関心を持ってもらう機会となりました。

語学体験では、日頃学習している英語とは違う言語（スペイン語、シンハラ語、ネパール語）を初体験！初めは苦戦しながらも積極的に授業に取り組み、楽しんでくれました。

イベント終了後の感想では、「JICA海外協力隊だけ

でなく、海外の文化や習慣、言語についても興味湧き、今後自分でも調べてみたい！」と話してくれた生徒さんもありました。

日本に2か所しかない訓練所。オンラインも活用し、より多くの方にJICA海外協力隊や訓練所を知っていただけるよう、今後も様々な取り組みにチャレンジしていきます！



松山商業高校 語学体験レッスンを終えて

帰国後隊員が派遣国との懸け橋に。取り組みを報告いただきました！

～長野県栄村とマーシャル諸島の小学校でオンライン交流～

とみぐち ゆきこ

富口由紀子さん

2018年度1次隊／マーシャル諸島派遣／栄養士／長崎県出身



交流を行いました。

マーシャル派遣中にお世話になったデラップ小の校長へ提案すると、快く「エンマン（「いいよ」の意）」と言ってくれ、栄小5、6年生14名との交流がスタート。自己紹介や互いの住む地域や国の紹介、ある時は、跳び箱など普段の授業の様子を動作や言葉を通して伝え合いました。

クリスマスの時期には、マーシャルの子どもたちは教会で踊るビートダンスを披露。すると、栄小のある児童が、画面越しに一緒に踊り始めました。遠く離れた国の文化をすんなり受け入れている瞬間を目にし、私

コバルトブルーの海が眩しいマーシャル。冬には白銀の世界が広がる栄村。この両極端な二つの場所にある小学校がつながり、5回のオンライン

自身、とても嬉しくなりました。

後半二回の交流では、より距離が近い状態でコミュニケーションがとれるよう、少人数の部屋を作成。『デラップ小の人』ではなく『デラップ小の〇〇さん』と交流することができました。つたない英語や、絵やジェスチャーなどの非言語コミュニケーションを使い、一生懸命つながろうとする児童の姿が印象的でした。最後には、自分たちで育て、包装、梱包した「ししこしょう」や「もち米」が届いたことを伝えてくれるデラップ小の児童を見て、世界がつながっていることを実感した栄小の児童たちでした。

「英語で話すことが難しかった」と感じる一方で、「ジェスチャーでも伝わったよ」「文化の違いがおもしろかった」と話してくれました。デラップ小の児童は「日本語を教えてもらったんだよ～」と嬉しそうに先生に報告してくれたそうです。互いを知り、認め合い、違いを楽しめた交流。今後も続けていけたらなと思います。



無事に届いた「ししこしょうともち米」を見せてられています



日本の国技、相撲についてジェスチャーをまじえ紹介する栄小の児童

信州から世界へ！ 高校生インタビュー！

飯田風越高校・国際教養科2年生

渡邊翼(わたなべつばさ) マリさん、ドリチュラー城(じょう) さん



「本当の寄付とは？～今世界に必要なものとは～(渡邊さん)」、「ボランティアの拡大(ドリチュラーさん)」をテーマに課題研究をされた飯田風越高校のお二人。訓練所スタッフともディスカッションを行い、その後研究発表会へもお招きいただきました。今号ではそんなお二人にインタビューを行いました！



(左)ドリチュラー城さん、(右)渡邊翼マリさん

－研究テーマを選んだ理由を教えてください。

渡邊さん(以下W):中学生海外派遣交流事業でネパールを訪れた際、先進国から送られた信号機が動いておらず、寄付の課題や自分達にできることを知りた

いと思ったことがきっかけです。

ドリチュラーさん(以下D):小さい頃から募金活動や託児活動、ゴミ拾いなどを行ってききましたが、今の社会に必要とされているボランティアとは何か、この機会に調べてみたいと思いこのテーマを選びました。

－もともと開発途上国や国際協力に関心はありましたか？

W:小中学校時代、出前講座などでJICA関係者から色々な話を聞いているうちに興味を持ちました。実際行ってみると、現地の人々はとても温かく、ネット情報とは

違うなと感じる部分があり、実体験することの大切さを痛感しました。

－課題研究前後で、テーマに関する考え方の変化はありましたか？

W:自分の出来る寄付とは何か、具体的に考えるようになりました。今年は、駒ヶ根市にあるネパール交流市民の会が行う、民際(市民×市民の交流)の活動に参加予定です。

D:調べるまである程度ボランティアについて理解しているつもりでしたが、論文にまとめる際、知らないこと、知るべきことが多く、また高校生にも出来ることが沢山あると感じました。

－高校卒業後の目標や夢があれば教えてください。

W:海外の教育現場に関心があり、将来はユネスコで働きたいと考えています。学校の授業で第2外国語はフランス語を取りました。継続した勉強を続け海外で活躍できるよう頑張ります！

D:ボランティア活動を通して多くの仕事に触れていますが、今後も沢山の経験をたく、様々な選択肢を検討しています。将来は英語を使った仕事に就きたいと思っています！

渡邊さん、ドリチュラーさん、ありがとうございました！

駒ヶ根訓練所を360°体験!? VR動画をYouTubeにアップしました!

駒ヶ根訓練所のことをもっと知ってもらいたい!という想いから、昨年秋よりVR(バーチャルリアリティ)動画の撮影・編集作業を行い、この度3本のVR動画をJICA青年海外協力隊事務局のYouTubeにアップしました!

この動画は、訓練生の皆さんの協力を得てスタッフが手作りで作成しました。「訓練って何をやるの?」、「語学力が身につく不安だな…」という方に、これまで以上にイメージを持ってもらえれば幸いです。

“より立体的に、まるでそこに居るかのように”を目指して作成しました。少しでも皆さんのご期待に添えることを祈っています。

専用ゴーグルをお持ちの方はもちろん、PC等からも画面を前後左右に動かして、360°を体感いただくことが可能です!皆さま是非ご覧ください!

【VR施設訪問】 【VR語学授業体験】 【VR体験入隊】



訓練生インタビュー

自社の海外事業・SDGsに取り組みたい

JICA海外協力隊に参加した経緯を教えてください。

▶ 大学生の頃から海外旅行が好きで海外に興味がありました。社会人になり、休みを利用してマレーシアのジャングルに行ったことを会社の先輩に話したところ、会社がJICAと民間連携しており、協力隊に現職参加できることを知りました。自社の海外事業に携わりたいという自身の思いと、海外人材を育成したいという会社の目的が合致したため、キャリア形成の一環にしたいこと、業務で得た知識を開発途上国に還元したいことを理由に参加を決意しました。

応募時に不安だったことは何ですか。

▶ 応募から実際に派遣されるまで1年以上時間があつたので、仕事のモチベーションを高く保てるか不安でした。しかし、目の前の仕事を一生懸命できない人はどんな環境でも頑張れないと思い、新型コロナウイルスの影響で派遣延期が決定しても、自分の仕事に集中することができました。コロナ禍でのこの経験は、任国での活動や今後の自分の人生でも活かせるだろうと思います。

駒ヶ根訓練所での訓練生活はどうか。

▶ 様々な経験を持った人が集まっており、毎日新鮮です。手話やヨガなど得意なことを訓練生同士で教え合う自主講座など、

おざきはやと

2021年度4次隊 **尾崎隼人** さん

コミュニティ開発 / ガーナ派遣 / 新潟県出身

皆が活性化するための活動を自分たちで考え、行っている姿勢に刺激を受けています。語学は英語が公用語の国に行くこともあり、今まで細々とやってきた勉強が活かしています。うまく言えないこともあります。プレゼンテーションでアウトプットする機会があるので、毎日成長を感じられ、充実した時間を過ごせています。



任国での活動、帰国後のキャリアプランを教えてください。

▶ 任地では、石けんやシャンプーの品質改善、生産性向上、新製品の開発などに携わる予定です。まず、任地の現状を知るため、趣味の料理などで多くの人とコミュニケーションをとり、仲良くなればと思っています。帰国後は、会社の海外事業展開や海外事業所で自社製品をより広めるような仕事に携わることや、食品メーカーとしてSDGsへの取り組みなど社会貢献を推進していきたいと考えています。ガーナに行くということでカカオ農園の現状など現地の様子も伝えていくことができるとなっています。

2021年度5次隊(3名)

長野県出身JICA海外協力隊員

青年海外協力隊



すずき たかゆき 派遣国：パラグアイ
鈴木孝之 さん(伊那市) 職種：自動車整備

地球の裏側パラグアイの職業訓練校へ自動車整備を教えに行きます。パラグアイには日本の中古車が多く出回っているという事ですので、日本での経験を現地の学生に伝えてきたいと考えています。



たかいけ りょう 派遣国：ヨルダン
高池 遼 さん(長野市) 職種：観光

映画インディ・ジョーンズ最後の聖戦の舞台となった世界遺産ペトラ遺跡があるペトラ開発観光庁で観光プロモーションの仕事を行います。アラビア語を習得して現地の住民を巻き込んだ体験型のツアーを造成したいです。

行ってきます!!

青年海外協力隊



やぎみ なみ 派遣国：ヨルダン
八木 未菜美 さん(長野市) 職種：幼児教育

ヨルダン、サルト県の幼稚園に配属され、遊びの紹介やワークショップの実施を行う予定です。現地の人との信頼関係を深め、自身の経験を役立てていきたいです。

JICA 海外協力隊 2022 年春募集について

下記日程で JICA 海外協力隊(長期派遣)の春募集を実施します。

◆2022年5月20日(金)~6月30日(木)
(日本時間 正午締め切り)

募集の詳細は、今後 JICA 海外協力隊 HP でお知らせいたします。長野県内やオンラインでの説明会も実施予定! 以下 QR コード内説明会情報に順次アップ予定です。



JICA 海外協力隊 HP

また応募に関する個別相談も承っております。駒ヶ根訓練所・募集担当までお気軽にご連絡くださいませ。
TEL : 0265-82-6151
EMAIL : jicakjv-jocv@jica.go.jp

スタッフ紹介



かみだて ふみせい
訓練担当 **上 館 文 世**

2月にJICA本部から転動してきました。春の息吹が感じられる季節、駒ヶ根の雄大な景色を存分に楽しみたいと思います。

私自身JICA海外協力隊としてアフリカのナミビアで活動を行いました。地域の皆様にも応援していただける事業を目指して頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
https://www.jica.go.jp/komagane/index.html

JICA駒ヶ根 facebook ページ

<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン

☑ 配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp までメールでご連絡ください!